

はるかな尾瀬

目次

- 02 特集 檜枝岐歌舞伎千葉之家花駒座100周年
- 04 特集 尾瀬の語りべに聞く 一松浦和男さんインタビュー
- 06 現地情報 番外編 ブログで振り返る令和4年度シーズン
- 08 ナッジを活用したトイレチップ増加実証事業
- 10 令和4年度尾瀬保護財団の主な活動
- 11 尾瀬ボランティア情報
- 13 尾瀬のためにできること
- 14 尾瀬保護財団からのお知らせ



2023.3 vol.51
(公財)尾瀬保護財団



入山(尾瀬沼) 2022年5月11日

特集

ちばのや 檜枝岐歌舞伎千葉之家花駒座 100周年



福島県側の尾瀬の入口である檜枝岐村には、「檜枝岐歌舞伎」という伝統芸能が息づいています。檜枝岐歌舞伎は「千葉之家花駒座」によって伝承され、2022年に一座は設立100周年を迎えました。ここでは、長い年月を経て、今もなお変わらず人々を魅了し続ける檜枝岐歌舞伎についてお伝えします。

石段に腰掛けて、茅葺き屋根の趣ある舞台を向くと、日常とかけ離れた雰囲気これから始まる檜枝岐歌舞伎への期待が膨らみます。山間部のため夏でも夜は冷えるので、服装にご注意ください。

檜枝岐歌舞伎の成り立ち

はじめは江戸中期に遡り、村には寛保3年(1743)と書き込まれた浄瑠璃本が残されています。お伊勢参りの道中、江戸で歌舞伎を観劇した村人たちにより、見よう見まねで伝えられました。そこからおよそ280年。村人の娯楽のための地芝居は、愛宕神社奉納歌舞伎・鎮守神社奉納歌舞伎として形を変えず継承され、今では村の大切な観光資源にもなっています。

鎮守神社の境内にある茅葺き屋根の木造舞台は、昭和51年「檜枝岐の舞台」として、国指定重要文化財となりました。舞台を要として、扇状に広がる石段の客席は、上演の夜ともなれば観客で埋め尽くされ、舞台の放つ神秘的な雰囲気の中、一座の熱演に観客は引き込まれていきます。

千葉之家花駒座

檜枝岐歌舞伎を伝承保存してきたのが「千葉之家花駒座」(以下、「花駒座」)です。1922年、初代村長 星愛三郎が立ち上げ、開村者のルーツである千葉平氏と会津駒ヶ岳にちなんで名付けられました。戦争による中断や後継者不足など、存続の危機に幾度も直面しながら村人の手で守られた檜枝岐歌舞伎は、平成11年3月に福島県重要無形民俗文化財の指定を受けました。

〔参考文献〕

檜枝岐村の民俗、福島県檜枝岐村教育委員会／檜枝岐温泉観光協会ホームページ／農村歌舞伎受け継いで100年 檜枝岐村の「花駒座」、朝日新聞デジタル2022年6月25日／檜枝岐歌舞伎 千葉之家花駒座

《2023年の公演予定》

- 4月 新春歌舞伎公演
- 5月 愛宕神社奉納歌舞伎
- 8月 鎮守神社奉納歌舞伎
- 9月 歌舞伎の夕べ公演

※日程や演目などの詳細については、尾瀬檜枝岐温泉観光協会HPをご覧ください。



緊張感が高まる楽屋では、全て座員たちの手によってメイクや衣装などの支度が整えられていきます。

歌舞伎伝承館では歌舞伎の化粧体験ができます(上演日と冬期閉鎖中を除く)

要予約:ひのえまたツーリズム
TEL.0241-72-8410

写真撮影:三条印刷

千葉之家花駒座11代目座長の星昭仁さんにアンケート形式で様々な質問にお答えいただきました。

百周年おめでとうございます。百周年に対しての思いをお聞かせください。

江戸時代から途切れることなく、演じられている檜枝岐歌舞伎の伝統を今日まで継承しているのが「千葉之家花駒座」です。1922年に設立されて2022年で100年という記念の年です。で、歌舞伎が奉納歌舞伎として、また村民の唯一の娯楽として有志によって苦勞しながらも演じ続けられてきた事に敬意を表するとともに、花駒座の記録として残し、貴重な伝統文化である檜枝岐歌舞伎を存続していきたいと思っています。

座員の方の年齢層を教えてください。子役の方もいらつしやいますよね。

約30名のうち、現在は6歳から78歳までの座員がいます。40代から60代、特に50代が多いです。子役を演じる座員は、8代も続く家系の子供さんです。(6、7代目も在籍中)檜枝岐村も他の地域と同様、人口減少や少子高齢化が顕著かと思いますが、檜枝岐歌舞伎を次世代へ繋いでいくために、どのような取り組みや努力をされていますか。

以前は8000人程だった住民の数も年々減少し、現在5200人程です。檜枝岐歌舞伎を次世代に繋ぐため、15年程前から、中学生に座員が指導して、文化祭で演じてもらっています。しかし、せっかく座員になっても村外への転居や、家庭の都合で辞めざるを得ない人もいます。新しく入座してくれる人がいれば良いのですが…。中学生も高校進学で、一旦は村外へ出てしまいます。帰村して仕事が見つければ、是非入座してもらいたいです。



「寿式三番叟」は檜枝岐歌舞伎の上演時には必ず最初に行われる演目です。その日の舞台清めと公演の無事を祈るための舞で、軽快でリズムカルな音、躍動感のある振り付けに特徴があります。



6月24日に行われた100周年特別公演の演目は「絵本太功記 尼ヶ崎の段」。絵本太功記は明光秀秀の謀反から滅亡までの13日間を1日一段に構成したもので、その中で最もよく知られている十段目が上演されました。

お稽古は、冬場に集中的に行うそうですね。座員の皆さんはお仕事もされていて、大変だと思いますが、どのくらいの期間・頻度で毎回のお稽古にどれくらいの時間をかけているのでしょうか。

それぞれ仕事(公務員・公共施設職員・自営業)があり、全員が揃って稽古する事はなかなか難しいです。練習は主に比較的時間の取れる冬期間(1月末から3月末)に、休日・祝日を除いて行います。時間は午後7時から9時頃まで(悪天候の時は中止)。それぞれの公演前は、1週間から10日程行っています。演目や配役を年末の役員会(花駒座員6名)で決定し、翌年の新年初顔合わせの総会で発表、1月は台詞を覚え、2月に台詞合わせ、3月に立ち稽古という流れです。

歌舞伎を見たことがない人でも楽しむことができるわかりやすい演目はありますか。また、どういったところを注目して観ていただきたいですか。

初めて見る人には解説書をご購入いただき、読んでいただけると幸いです。演目ごとに解説されているので、わかりやすいと思います。また、上演前に元NHKアナウンサー葛西聖司さんによるCD解説を放送していますし、上演日によっては、葛西さんが生で解説してくれます。人気があるのは、子役の出演する幕です。例えば、奥州安達ヶ原二段目「文治館の段」と三段目「袖萩祭文の段」(十八番)、南山義民の碑喜四郎子別れの段などです。

歌舞伎を演じる苦勞や喜びはどのようなところにあるのでしょうか。

寒い冬の練習は辛いですし、新役の人はいつも大変苦勞します。上演日を迎えて、化粧が始まると緊張もしてきます。それだけに、終演後の手締めでは、笑ったり泣いたり…。(たとえ間違えたとしても)辛い練習を乗り越えてやり切ったという大きな達成感を味わうことができます。

最後に読者へ一言お願いします。

あくまでも素人が演じる歌舞伎です。しかし、長い間受け継がれてきた型・振り・台詞の言い回しは、東京のプロの大歌舞伎とは、ひと味違った魅力がありますので、是非一度檜枝岐歌舞伎をご覧になっていただきたいと思っています。

松浦和男さん インタビュー



私設資料館 山遇案にて 馬方・歩荷時代の写真とともに



昨年12月に群馬県片品村戸倉在住の松浦和男さんが、60年以上に及ぶご自身と尾瀬の関わりについて語り下ろした『尾瀬の語りべ』（上毛新聞社）を出版されました。松浦さんは、尾瀬の自然保護についての普及啓発や救助隊の活動に長年携わるとともに、弊財団の評議員もお勤めいただいた尾瀬の生き字引ともいえる方です。著書出版を機会に尾瀬の思い出を語っていただきました。

ご著書をたいへん興味深く拝読しました。この本が生まれた経緯からお聞かせください。

きっかけは、宇土秀顕さんという競馬専門紙の記者さんとの出会いです。私の話に興味を持ってもらい、宇土さんに口述筆記の形で纏めていただくことになりました。電話でのやり取りだけでなく、宇土さんは何度も片品まで足を運んでくださり、その甲斐あっていい本に仕上がったと思います。

表紙には娘が作ってくれた切り絵を使用していますが、よく見るとミズバシヨウの中に去年の私の誕生日が隠れているんですよ。

本当ですね、素敵です。裏表紙の写真は松浦さんですよ。お幾つくらいのおときですか。

20歳くらいです。長蔵小屋の半纏はんてんを着ています。昔は、尾瀬で働いている人にお中元のような感じで、山小屋から半纏や帽子が贈られていました。

尾瀬との関わりは中学時代に始まるそうですね。

実家が馬方をやっております。

あれは中二の夏でしたか、いきなり父に「明日、尾瀬まで馬を曳いてこい」と。「尾瀬へ行ったことがないから道がわからない」と答えると、馬が道を知っていると云うんです。馬は出だしの方向さえ教えてやればあとは勝手に歩いてくれるんですね。馬はとても利口なんですよ。

気になるところでは、昭和44〜45年に働いた弥四郎小屋さんでもすごい人数を泊めたエピソードが出てきます。

あの頃は本当に忙しかった。特に土日になると大変でした。私は救助隊に所属していたので、救助隊の格好でお客さんを整理していました。山小屋の半纏を着ていると待たせているお客さんに怒られますが、救助隊の言うことは素直に聞いてくれるんですね。山小屋はどれもすごい混みようで8畳に20人入れることもありました。泊まり先の決まっていな人が回ってきて夜になっても外

でガヤガヤしていました。こんな遅くにお帰りくださいとも言えず、天井があつて雨露さえしのげればいいという具合で、脱衣所や廊下に寝てもらったこともあります。どの山小屋も似たような状況でした。

入山者数計測開始以降のピークは平成8年の64万人と聞いていますが、その頃（昭和44～45年）すでにそんなに多くのお客さんがいたのでね。

当時は入山者数を計測していなかったから具体的な数字はわかりません。でも人はすごく多くて……。馬方をやめた後は歩荷、スキー場、家業の民宿といろいろな仕事をしましたが、毎日がとにかく忙しかった。

いつも多忙だったというのですが、お休みの日の楽しかった出来事や尾瀬での楽しかった思い出を教えてください。

とにかく仕事が忙しくて休みなんてなかったねえ。楽しい思い出か……。救助隊として遭難者を助けたときは嬉しかったですね。ご家族が本当に感謝してくれて。いつも助けられるとは限りませんが、助けたときはやっていてよかったですと感じました。あとは盆と正月ですね。そこだけはしっかり休んで、祭りも楽しみにしていました。沼田で年に一度、祇園祭という大きな祭りがあつて、尾瀬で仕事をした後バスで出掛けるんですよ。遅くまで飲み食いして夜行バスで帰ると次の日も朝早くから仕事ですね。馬を連れて尾瀬に入らんですが、とにかく寝てないので歩きながら居眠りしているんですね。躓いてはつと気付くと、馬はるか先をてくてく行っていて慌てて追いかけるなんてこともありました。

尾瀬にお詳しい松浦さんの考える尾瀬の見所、楽しい思い出を作れそうな場所はどこでしょうか。

尾瀬ヶ原のヨッピーつり橋の辺りにベンチと大きな池塘があります。燧ヶ岳が池塘に映り込むあの景色が好きです。池塘と浮島のバランスが良くて好みです。

ご自分でいろいろな仕事をされた話も出てきて驚きました。次々と新しいことに挑戦される、その力の源は何でしょうか。

今まで家やテニスコート、体育館のかなりの部分を自分で作ってきました。家の裏側の石垣は、河原から石を毎日50個運搬することを何日も続けて完成させました。このロッジや山遇楽（尾瀬の私設資料館）の柱や梁などの木材も私一人で山から切り出しましたし、合宿の学生を呼び込むために建てた体育館の基礎工事も自分で行いました。中学生の頃、戸倉から鎌田まで片道2時間を歩いて通学していました。これなど他の人に真似できないことだと思っています。毎日の積み重ねで得た体力と自信があるから、「何とかなる、とにかくやってみよう」という気持ちになるんですね。

これまでの人生を書籍にまとめた感想をお聞かせください。

この場所で一年でも長く語りべとして尾瀬の記憶を伝えていけたらと思っていたところに、思いがけず本を出版することができて私の集大成となりました。皆さんに楽しんで読んでいただけたら嬉しいです。——次号につづく

（取材日…1月16日）



『尾瀬の語りべ』 税込1,200円
ご購入・お問い合わせ先
上毛新聞社 027-254-9966
※ロッジまつらのフロントでもご購入いただけます。



山遇楽のご利用

入館料200円/予約不要/宿泊者以外でも利用可/ロッジまつらへお声掛けください。
〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉609 0278-58-7341



現地情報

番外編

ブログで振り返る令和4年度シーズン

5月14日（本日オープンしました）
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

今日から尾瀬沼ビジターセンターがオープンとなりました。ビジターセンターの周囲には驚くほどたくさん残雪がありますので、ご注意ください。



5月16日（本日開所しました）
〜山の鼻ビジターセンターより〜

令和4年度（2022年度）群馬県尾瀬山の鼻ビジターセンターが開所いたしました。合わせて開所式が行われました。

5月18日（早朝の尾瀬ヶ原）
〜山の鼻ビジターセンターより〜

朝起きると気温は氷点下で、早く花を咲かせたミズバショウには霜が降りていました。山の上では、朝方や夜間はまだまだ気温が低いので、防寒対策が必要です。逆さ燧のビュースポットの手前まで来ると、「尾瀬ヶ原湖」を見ることができました。



5月28日（東電小屋〜東電尾瀬橋付近の花）
〜山の鼻ビジターセンターより〜

暖かくなって残雪も少なくなり、ミズバショウも見ごろを迎え、いろいろな花も咲き始めました。



5月29日（好天の尾瀬沼）
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

今日の尾瀬沼は、朝から好天に恵まれ気温も上がり、水芭蕉観察に適した一日でした。昨日から御池〜沼山峠間のシャトルバス運行が開始され、多くの方が尾瀬沼を楽しまれました。



6月13日（田代山・帝釈山山開き）
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

6/11は帝釈山、6/12は田代山が山開きでした。両山の啓発活動と登山道の巡回も兼ねて帝釈山と田代山へ行って来ましたので、ご紹介させて頂きたいと思います。天候があまり良くなかったにも関わらず、山開きと言ったこともあり、どちら



の山も早朝から多くの登山客が訪れていました。

2022年6月23日（山ノ鼻〜尾瀬ヶ原の様子）
〜山の鼻ビジターセンターより〜

山の川上川橋ベンチ近くに「ニリンソウ」「サンリンソウ」が咲いていました。「ニリンソウ」は中に緑色の花もあります。見つけると幸せになれると聞いたことがあります。皆さんも探してみてください。



7月14日（尾瀬ヶ原情報）
〜山の鼻ビジターセンターより〜

牛首分岐からヨツピ吊橋方面へ、中田代では「ニッコウキスゲ」の群落がみられます。今年は「ミズバショウ」が良かったのですが「ニッコウキスゲ」もたくさん咲きました。その他にも夏のお花がたくさん見られます。



7月25日（夏の星空観察会）
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

昨夜、尾瀬沼ビジターセンターで「夏の星空観察会」を開催しました。事前説明の後、大江湿原の尾瀬着板

前まで移動して星座観察を実施しました。
あいにくの曇り空でしたが、雲の合間から辛うじて夏の大三角形や北斗七星などを観察することができました。

7月31日(山の朝は早い)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

昨日は尾瀬関係者、ボランティアさん約40名が小沢平に集合して、オオハンゴウソウの駆除作業を行いました。尾瀬沼ビジターセンターからも職員が参加しました。軽トラック約2台分駆除できました。駆除作業に参加した皆様、暑い中お疲れ様でした。



8月4日(アヤマ平の様子)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

鳩待峠から林を抜けると横田代湿原です。「ワタスゲの果穂、キンコウカ」が同時に見ることができました。一面の「キンコウカ」花畑、青空と、遠くの至仏山、燧ヶ岳をバックに「天空の楽園」と言われていたことがよくわかります。



8月18日(仙境尾瀬沼花の原)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

昨日は気温も10℃台までしか上昇せず本格的な、秋の訪れが近いのではと感じます。昨晩は『空を飛ぶ哺乳類』と言つテーマで岩崎雄輔先生(福島県尾瀬保護調査委員会・一般社団法人 湯本森・里研究所理事)からコウモリを中心とした講演を行っていただきました。空飛ぶ哺乳類、モモンガやムササビなどについても興味深いお話を伺いました。講演最後には調査研究用に捕獲(捕獲許可済)したコウモリを自然に帰す様子も感動的でした。



9月9日(赤い実)
〜山の鼻ビジターセンターより〜

見本園で、草紅葉が少しずつ始まっています。実が赤い色をしているのは、「目立つ」ことで鳥に見つけてもらいやすくするため、鳥の視覚は人間に似ていて、赤い実は鳥にも赤く見えるらしいです。



9月19日(歩荷さんイベントの様子)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

尾瀬で活躍している歩荷の五十嵐さんと萩原さんをお招きし、「歩荷さんを知っていますか」特別講演会を開きました。歩荷体験では、想像以上の重さに悪戦苦闘しながらもなかなかできない体験ができるので、とても盛り上がりました。



10月21日(尾瀬ヶ原の様子)
「氷点下の尾瀬ヶ原の様子」
〜山の鼻ビジターセンターより〜

草木が氷の衣をまとい、美しい姿を見せていました。◎朝晩はかなり気温が下がります。防寒着(雨対策も)を忘れずに携行しましょう。

10月31日(本日で閉館です)
〜尾瀬沼ビジターセンターより〜

本日、尾瀬沼ビジターセンターの最終日となりました。『ブログ見えますよ!』とのお声がけを多くいただき大変励みとなりました。5月14日の開館から約5ヶ月半、尾瀬沼ビジターセンターをご利用頂いた皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございます。





その結果、初年度は、図1のとおり取組を行うこととしました。また、山の鼻公衆トイレでの取組の有効性を評価するため、同様に尾瀬保護財団が維持管理を受託している尾瀬沼公衆トイレを比較対象に設定しました。

※カスタマージャーニーとは、尾瀬への訪問の検討～実際の訪問～下山という一連の道筋について、各タイミングでの利用者の行動や心理についてイメージするもの。



図1. 2021年度介入施策の概要（ここでは取組を「介入」と呼んでいます）

5 2021年の結果



(写真1)

各Plan実施期間中の1人当たりのチップ額を比較したところ、Plan3：義務的表現+周知徹底(写真1)がPlan1：介入なしより10.0円高い結果となり、統計的に有意となりました。その一方で、より正確な検証方法である「差分の差分法(※)」での分析結果では、どのPlanも有意ではなく、2021年度の結果は、あくまで今後の改善策を練る上でのヒントを得られたという形になりました。

また、分析を進める中で、「観光客が多いシーズンに支払い額も増える、混雑していない時間帯には支払額が減る」という傾向が見つかったようで、今後のキーワードとして「人の目」ということが挙げられました。

さらに、今回の取組が各種メディアで取り上げられたことで、多くの方に山岳地域のトイレ事情を知っていただくことができました。取組を知って尾瀬保護財団にメッセージをくれた方がいたり、朝日新聞社「天声人語」への掲載、地元・上毛新聞社では子供たちにトイレチップについて考える感想文を募集したりと、

取組に付随して大きな効果を得ることができたと考えています。

※差分の差分法とは、介入ありと介入なしの群を比較して、介入なしの群の介入前後での差分を時間による影響と考え、介入ありの群の介入前後での差分から取り除くことである事象の影響度を調べる解析手法のこと。

6 2022年度の取り組み



(写真2)

2022年度は2021年度の結果を踏まえ、また様々な取組を検討した結果、「人の目」や掲示の表現と見やすさを改良したもの(写真2)を9月9日から男子・女子トイレの入口に設置しました。

2022年度の実験結果については、本記事作成日現在分析中ですので、またどこかでご報告したいと思います。

最後になりましたが、企画から分析までご協力いただいたNPO法人 PolicyGarageの皆さまに御礼申し上げます。





ナッジを活用した トイレチップ増加実証事業

1 尾瀬のトイレ管理

尾瀬国立公園では、公園を利用する方のために計21個のトイレが整備されていて、環境省や福島県、群馬県、檜枝岐村、東京電力などによって設置されています。これらのトイレの維持管理には多くの費用がかかっています。特に山岳地域にあるトイレでは資材運搬にヘリコプターを使い、また、トイレの点検や汚泥(※)の脱水・乾燥作業なども資格を持った方が歩いて現地に向かい、山小屋に何日も泊まりながら作業を行っています。

そのため、維持管理費をまかなうために多くの地域ではチップ制トイレを採用しており、1回あたり100円程度のチップ(地域によっては「協力金」と呼ぶ場合もある)をお願いしています(最近では東京都の駅構内でもチップ制トイレがあるようです)。チップ制を導入しなければ、維持管理にかかる全ての経費は設置者が負担することとなり、昨今の社会情勢においては、トイレを維持することが難しくなると考えられます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、尾瀬入山者の減少に伴いトイレチップも減少し、維持管理に必要な財源の確保が難しい状況が続いています。さらに、近年では少子高齢化・人口減少が進む中で、こうしたトイレの維持管理を担ってくれる人手の確保も難しくなっています。

※汚泥とは、トイレから流れる汚水を綺麗にする過程で分離された水以外の部分のこと。

2 トイレチップの現状

群馬県が設置し、また私たち尾瀬保護財団が維持管理を受託している「群馬県尾瀬山の鼻公衆トイレ」は、赤外線センサーを用いてトイレ利用者数をカウントしています。また、山の鼻ビジターセンター職員が毎日トイレチップを回収しているため、日別のトイレ利用者数とトイレチップ額から、1回あたりチップ額(トイレチップ額/トイレ利用者数)を計算することができます。

近年の1回あたりチップ額を計算すると、40円程度となりました。全体のトイレ利用者のうち4割程度しか協力していない、あるいは協力額が40円程度である状況が続いています。

3 ナッジ(行動経済学)の導入

こうした背景や状況を踏まえ、尾瀬のトイレの現状を少しでも多くの方に知っていただくこと、そして持続可能なトイレ環境をつくることを目的に、トイレチップ増加に向けた検討を始めました。また、検討にあたっては、行動経済学を研究する若手官僚グループNPO法人PolicyGarageの方々にご協力いただき、ナッジ(行動経済学)のアプローチを導入することとしました。

ナッジとは、行動科学の知見から、望ましい行動をとれるようにナッジ(=背中をそっと押す)するアプローチのことです。罰則といった手段を用いることなく、あくまで最終的な意思決定は本人にしてもらうことを前提としています。

4 2021年度の取り組み

初年(2021年度)は、現状の把握に加え、効果的な施策を考えるためのカスタマージャーニー(※)の検討、実現可能性と想定される効果の高さを勘案しながら、実際に取り組む施策を検討しました。

令和4年度尾瀬保護財団の主な活動 (令和5年2月現在)

4月	20日 至仏山残雪期調査実施 23・24日 春の上州どっと楽市に出展 (ビエント高崎)
5月	10日 尾瀬ガイド協会理事会に出席 (Web) 14日 尾瀬沼ビジターセンター開所 16日 尾瀬山の鼻ビジターセンター開所 17・18日 研究見本園シカ柵設置ボランティアツアー実施 25日 外来植物 (ハルザキヤマガラシ) 駆除作業実施 (津奈木-鳩待峠間)
6月	1日 尾瀬Instagram投稿キャンペーン募集開始 (~10月31日まで) 8日 尾瀬保護財団第38回理事会 (定時・web) 14日 山ノ鼻地区現地関係者ツキノワグマ対策意見交換会 15日 尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策広域協議会による現地視察 (泉水田代) に参加 17日 至仏山東面登山道整備 (柵立て) 実施 22日 林野庁による大江湿原シカ柵設置作業に参加 24日 尾瀬保護財団第18回評議員会 (定時・web) 27日 至仏山開山前現地確認 (7月1日開山) 28・29日 福島県尾瀬地区植生復元調査実施
7月	1日 トイレチップ アンケート調査 4日 ツキノワグマ対策協議会によるテンマ沢湿原の刈り払い作業参加 16日 福島県尾瀬地区植生復元調査実施 23日 至仏山保全対策会議現地視察 26日 登山系YouTuberによる尾瀬動画公開 (制作委託/燧ヶ岳) 30日 登山系YouTuberによる尾瀬動画公開 (制作委託/至仏山) 30日 外来植物 (オオハンゴンソウ) 駆除作業実施 (小沢平)
8月	7日 尾瀬ボランティア講座 (講義/群馬県庁+webのハイブリッド開催) 16・17日 福島県尾瀬地区植生復元調査実施 24日 尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策広域協議会に出席 (web) 27日 尾瀬ボランティア講座 (現地研修/山ノ鼻)
9月	6日 財団理事等現地視察 (尾瀬沼エリア) 10日 尾瀬ボランティア講座 (現地研修/山ノ鼻) 13日 ツキノワグマ生息状況等に係るミズナラ豊凶調査実施 15・16日 財団理事等現地視察 (山ノ鼻エリア) 29日 至仏山保全対策会議 (web)
10月	5日 福島県尾瀬地区植生復元作業実施 6日 外来植物 (オオハンゴンソウ) 繁茂状況調査 (小沢平) 8日 ありがとう尾瀬清掃活動実施 12日 研究見本園シカ柵格納ボランティア作業実施 13・14日 ツキノワグマ生息状況等に係るブナ豊凶調査実施 16日 ありがとう尾瀬清掃活動実施 17日 至仏山東面登山道整備 (柵倒し) 実施 19日 林野庁による大江湿原シカ柵撤去に参加 26~30日 ぐんまフェアに出展 (イオン太田) ※29日に観光案内、ワークショップ開催 31日 尾瀬沼ビジターセンター閉所 31日 尾瀬山の鼻ビジターセンター閉所
11月	25・26日 令和4年度第1回冬期調査実施
12月	6日 ツキノワグマ追い払い研修 (講義/片品村文化センター、実習/越本水芭蕉の森) 7日 尾瀬ガイド協会理事会に出席 (web) 16日 尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策広域協議会群馬地域意見交換会に出席 (web) 19日 尾瀬国立公園利用アクションプラン検討小委員会に出席 (web)
1月	21・22日 ぐんま狩猟フェスティバルに出展 (スマーク伊勢崎) 30日 尾瀬国立公園協議会に出席 (web)
2月	11日 自然解説ガイド連絡会議 (高崎市労使会館) 11日 尾瀬ボランティア総会 (高崎市労使会館) 18・19日 脱炭素ライフスタイルフェアwithぐんま環境フェスティバルに出展 (Gメッセ群馬)

新型コロナウイルス感染症の影響による主な中止事業… ごみ持ち帰り運動キャンペーン

尾瀬ボランティア情報

このコーナーでは尾瀬ボランティアの活動を紹介します。

● 2023(令和5)年シーズンの活動参加をお待ちしております

2022(令和4)年シーズンは、延べ170名の尾瀬ボランティアの方々に活動いただきました。コロナ前の活動者数には戻っていないものの、多くの方に尾瀬のためにご協力いただき本当にありがとうございます！

来シーズンは、コロナ禍で中止していた研修の再開や活動メニューの追加を予定しています。行動制限の緩和で尾瀬を訪れる人も増える中、入山口での啓発活動等の尾瀬ボランティアの活動が重要になります。より多くの尾瀬ボランティアの皆さまに、尾瀬の自然を満喫しながら積極的に活動していただけることを願っています。



外来種(オオハングンソウ)除去作業の様子

● 尾瀬ボランティアに新しいメンバーが加わりました

3年ぶりに新規の尾瀬ボランティアが誕生しました！

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった過去2シーズンは、尾瀬に来ていただくこと自体が難しい日々が続いていたため、尾瀬ボランティア講座の開催と新規の登録も中止せざるを得ない状況でした。久々に行動制限がほぼ無いシーズンとなった2022(令和4)年は、できるだけ密を回避したwithコロナ形式で尾瀬ボランティア講座を再開し、新規に27名の尾瀬ボランティアを迎えることができました。皆さん意欲的で、登録後すぐに活動していただいた方もいます。来シーズン、令和4年度登録のみなさまによる積極的な活動を期待しています！



尾瀬ボランティア講座の様子

尾瀬ボランティア登録希望者募集中！

尾瀬保護財団では、尾瀬の貴重な自然を保護し、将来へと引き継いでいくために、尾瀬利用者への普及啓発活動、環境美化活動等を行う「尾瀬ボランティア」を募集しています。

受付期間／随時

ただし、2023(令和5)年度の登録は、令和5年4月20日(木)までの応募が対象

応募の際の注意点／応募後、尾瀬ボランティア講座の受講・登録が必要です。

※詳細は、財団ホームページをご覧ください。 <https://www.oze-fnd.or.jp/ozg/vol/>

問合せ先 公益財団法人尾瀬保護財団(尾瀬ボランティア担当)

TEL: 027-220-4431 / FAX: 027-220-4421 / E-mail: info@oze-fnd.or.jp

尾瀬ボランティア総会開催レポート

2月11日(土)、第26回尾瀬ボランティア総会が高崎市労使会館にて開催されました。新型コロナウイルス感染予防のため、R1・2年度は中止、R3年度はオンライン開催で、実際の会場での開催は4年ぶりとなりました。全国各地から29名の方が参加され、班別討議や総会前後の時間では、皆さん尾瀬話に花を咲かせていました。



開会にあたり、石井事務局長より挨拶

今回の総会は、以下の内容で行われました。

1. 令和4年度 活動実績
2. 令和5年度 活動計画(案)
3. 尾瀬ボランティア規定の改定
4. 班別討議

班別討議の時間では、沢山の意見が交わされ、討議後に、各班の代表者1名から話し合った内容の発表する時間が設けられました。その意見の中からほんの一部ですが、紹介いたします。

尾瀬ボランティア活動の醍醐味

- 活動を通して四季折々の尾瀬を楽しめる
- 入山者への情報提供をすることで感謝されるし、自分自身の尾瀬の知識を高めることができる
- 尾瀬ボランティア同士の交流を通して尾瀬の知識が深まる
- 活動を始めてから日本全国に友達ができた

Withコロナでの効果的な啓発活動

- 「目で笑顔、声で笑声」で対応
- 案内板などを活用して、入山者の視覚に訴える
- 自分自身で感染症対策



自己紹介から始まった班別討議では、尾瀬の思い出話も交えながら、様々な意見が飛び交いました



各班1名の発表者を決めて、発表を行いました。それぞれの素晴らしい意見に、尾瀬への思いと総会開催の意義を強く感じました

参加されたボランティアさんにボランティア総会についての感想や来年度の意気込みをお聞きました！



435番 栗原洋三さん

コロナ禍で中止され、久しぶりのボランティア総会でしたので、皆さんの今まで抱かれた様々な思いや意見が堰を切ったように出てきました。総会の再開は、また尾瀬ボランティア活動の新しいスタートとなり、皆さんそれぞれの使命を感じたのではないのでしょうか。私自身も新たな気持ちで取り組まなくてはいけないなと感じています。来年度は、入山口活動他、様々な行事で皆さんと連携をとっていきたいです。また、花の時期には、いかに皆さんに楽しんでいただけるかをさらに考え、それぞれの人に応じた自然解説を行いたいと思っています。個人的には新しい植物を探したり、何か発見が出来たらいいなと思います。



1083番 金澤治子さん

尾瀬での経験や知識を沢山うかがうことができ、とても勉強になりました。尾瀬が好きで、季節を変えて何度も訪れていましたが、尾瀬は同じ場所でも違う景色が見られたり、いつ訪れても新たな発見があります。そういったことを色んな人に知ってもらいたいと思い、去年からボランティアになりました。昨年は入山啓発活動を1回しか出来なかったので、コーディネートをチェックして、他のベテランの方にも色々教えていただいて取り組みたいと思います。あと、尾瀬自然解説ガイドにも興味があるので、インタープリター研修にも参加したいです。

尾瀬のためにできること

尾瀬保護財団は、尾瀬国立公園をフィールドに「尾瀬での体験と感動を、自然を守る力に変える」をミッションに掲げ関係者と連携しながら、さまざまな活動を展開しています。当財団の活動(※)は、皆さまからのご寄付によって支えられています。

(※)ご寄付の使途(当財団の主な活動)は本誌15ページをご覧ください。

【ご支援の方法】

個人 の皆さま

① 銀行振込

群馬銀行・東邦銀行・第四北越銀行
指定口座にお振込



② クレジットカード決済

自宅や外出先で、簡単に3ステップ寄付!

- ①QRコードを読み取り
- ②特設ページ上部の「寄付で尾瀬を支援する」をクリック
- ③必要事項を入力



※①②は「特定寄付金」として、一定の要件の下、所得税や法人税、住民税などの税制上の優遇措置を受けることができます。

※③④⑤は「募金」「会費」のため、税制上の優遇措置の対象外となります。

③ Yahoo!ネット募金

Tポイントで寄付!

※クレジットカードは100円から、Tポイントは1ポイントからご寄付可能です。



④ SoftBankつながる募金

携帯電話料金とまとめてお支払い!



⑤ 友の会

郵便局でお手続き

※払込取扱票を送付します。



法人 団体 の皆さま

⑥ 募金箱を設置する

(スマーク伊勢崎様 など)

- ・オフィス内、店舗レジ横などに募金箱を設置
➔ 募金収益をご寄付いただく
- ・箱の仕様は問わない
尾瀬の風景・動植物の画像データ提供
- ・随時受付(設置期間は相談に応じる)



▲ coins あかぎ
(スマーク伊勢崎様設置)

⑦ 寄付型自動販売機を設置する

(カネコ種苗様 など)

- ・社内・工場内に「寄付型自動販売機」を設置
➔ 販売手数料の全部又は一部をご寄付いただく
- ・随時受付。「三者覚書」を締結
- ・POPに尾瀬の風景・動植物の画像データ提供



▲ 寄付型自動販売機(オリジナルラッピング)

⑧ 寄付付加商品を販売する

(アサヒビール様・クオカード様・群馬トヨペット様 など)

- ・自社商品に尾瀬保護財団への寄付を付加して販売
➔ 販売収益の一部をご寄付いただく
- ・随時受付。必要に応じて「覚書」を締結
- ・広報資料等に尾瀬の風景・動植物の画像データ提供



◀「尾瀬 至仏山」QUOカード
(画像提供:クオカード様)

⑨ 物品を提供する

(アサヒビール様 など)

- ・プライベートブランド商品(トイレトペーパーなど)
自社製品(自動車など)を提供いただく
- ・設置施設内に文書掲示(社名掲載)
車体ボディに印字
(社名ロゴマーク等を掲載)

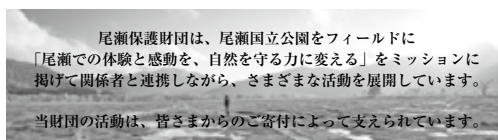


ありがとう

尾瀬の貴重な自然を守り継ぐために皆さまからのご支援をお願いします。

寄付のお願い

美しい尾瀬を未来に引き継ぐために皆さまからのご支援をお願いします



■所得税、法人税、個人県民税、個人市町村民税について

尾瀬保護財団へ寄付をすると優遇措置が受けられます。詳しくは、当財団ホームページをご確認ください。
 ※所得税・法人税の詳細については最寄りの税務署に、県民税・市町村民税については、お住まいの都道府県・市町村にお問い合わせください。

■特別協賛寄付・協賛寄付について

企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、特別協賛寄付、協賛寄付の制度を設けています。

■寄付の方法

当財団へご寄付いただく場合は、財団事務局へご来訪いただくか、ご連絡の上、以下の口座にお振込をお願いします。

福島県	群馬県	新潟県
東邦銀行県庁支店 普通 1078095	群馬銀行県庁支店 普通 0515428	第四北越銀行県庁支店 普通 1182791

※振込手数料は寄付者のご負担となります。何卒ご了承ください。

※以下の口座を廃止いたしました。お振込の際には十分ご注意ください。

大東銀行福島支店口座 / 福島銀行本店営業部口座 / 東和銀行本店営業部口座 / 第四北越銀行（旧北越銀行）新潟県庁支店口座 / 大光銀行新潟支店口座

■注意事項

ご寄付の受領後、領収書等を作成・送付させていただきます。

ご住所及びご芳名が不明な場合、必要書類をお届けすることができません。必ず財団事務局へご一報ください。

■お問い合わせ先 公益財団法人尾瀬保護財団事務局（寄付担当） TEL：027-220-4431 Mail：info@oze-fnd.or.jp



クレジットカードで寄付ができます！

ご寄付の方法として、新たに「クレジットカード決済サービス」を導入しました。

同サービスはコングラント株式会社が提供するシステムを利用するもので、お手持ちのクレジットカードを使い、より簡単にご寄付をいただけます。

尾瀬保護財団友の会会員の皆さまにも、会費やご寄付の払込方法としてクレジットカード決済サービスをご選択いただけるよう準備を進めております。

これからも尾瀬保護財団が活動を続けていくために、皆さまからの温かいご支援をお願いします。

ご寄付（決済完了）までのステップは次のとおりです。

- ① 右のQRコード、又は <https://congrant.com/project/ozefnd/5503> にアクセス
※尾瀬保護財団ホームページ→「尾瀬を支える」タブをクリック→「尾瀬のためにできること」頁の「クレジットカード決済」をクリック、という手順でもアクセスできます。
- ② 都度寄付/継続寄付/クラウドファンディングから希望の寄付頁を選択
※現在「都度寄付」頁のみを公開しておりますが、他の頁についても準備が整い次第、順次公開してまいります。
- ③ 各頁上部の「寄付で尾瀬を支援する」をクリック
- ④ お申込画面に必要な事項を入力（寄付金額、住所氏名など領収書発行に必要な個人情報、クレジットカード情報）
- ⑤ 決済完了

※現在、ホームページのリニューアルを検討中です。トップページからスムーズにクレジットカード決済サービス頁にアクセスできるよう、順次、改善・工夫してまいります。
 ※税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けるためには、確定申告の際に「領収書（寄付金受領証明書）」の提出が必要となります。
 ※クレジットカード決済サービスをご利用の場合、領収書のお日付はクレジットカード決済日ではなく、寄付金が決済代行会社から尾瀬保護財団へ入金されたお日付となります。尾瀬保護財団への入金日はカード決済日の翌月20日前後となります。領収書は入金を確認後に発行・送付いたします。確定申告にて寄付金控除をご希望の方は十分ご注意ください。




「都度寄付」頁QRコード


特別協賛寄付者のご紹介

※4月30日現在、五十音順、敬称略

 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 通算寄付額 4,396,790円	 糸井商事株式会社 通算寄付額 8,400,000円
 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています 株式会社エコ計画 通算寄付額 7,000,000円	 関東いすゞ自動車株式会社 通算寄付額 900,000円
 株式会社ジーシーシー 通算寄付額 900,000円	 第一生命保険株式会社 群馬支社 通算寄付額 1,500,000円

 Asset Management **One** アセットマネジメントOne株式会社
通算寄付額 41,339,981円
投資の力で未来をはぐくむ

尾瀬紀行
尾瀬紀行（信託ファンド）で收受した信託報酬の一部をご寄付いただいております。平成19年より今回が16回目のご寄付となります。
通算寄付総額 82,679,961円

 **群馬銀行** 株式会社群馬銀行
通算寄付額 38,189,747円※
※尾瀬紀行（ぐんぎん証券様分）、横断募寄付、ぐんぎんSDGs私募債、株主優待制度「寄付コース」、その他財団設立当初の一般寄付を含む。


 **第四北越銀行**
DAISHI HOKUETSU BANK
株式会社第四北越銀行
通算寄付額 7,107,054円

 **第四北越証券**
Daishi Hokuetsu Securities
第四北越証券株式会社 通算寄付額 1,934,540円

 **東邦銀行**
株式会社東邦銀行 通算寄付額 14,843,879円※
※尾瀬紀行（とうほう証券様分）を含む。

協賛寄付者のご紹介

※2月21日現在、五十音順、敬称略

 **クラブツーリズム株式会社**
通算寄付額 1,500,000円

一般財団法人群馬県警察厚生会
通算寄付額 1,200,000円

 **群馬県ビルメンテナンス協同組合**
通算寄付額 2,300,000円

 **群馬トヨペット株式会社**
通算寄付額 1,784,380円

 **GN群馬日産自動車株式会社**
群馬日産自動車株式会社 通算寄付額 900,000円

KDDI株式会社
通算寄付額 556,700円


 **佐田建設株式会社**
SATA 佐田建設株式会社 通算寄付額 300,000円

 **スマーク伊勢崎**
通算寄付額 1,500,000円
ISESAKI

 **利根郡信用金庫**
利根郡信用金庫 通算寄付額 4,045,390円

 **株式会社とりせん**
通算寄付額 2,878,562円

 **NICHINEN**
株式会社ニチネン 通算寄付額 1,600,000円







 **ひかり接骨院**
通算寄付額 703,000円

その他の寄付者のご紹介 ※令和4年10月1日～令和5年2月7日までの寄付者、五十音順、敬称略

大貫健治、関越交通株式会社、新潟県魚沼市立宇賀地小学校5年生、林弘明、明治ホールディングス株式会社

皆さまからのご寄付の用途について（尾瀬保護財団の主な活動）

皆さまからのご寄付は、旅行会社や登山者への普及啓発活動、ビジターセンターでの自然解説活動、公衆トイレや木道の維持管理、至仏山の環境保全対策、ニホンジカ対策、ツキノワグマとの共生、外来植物対策など、幅広い事業に役立てられます。

 入山口啓発活動	 至仏山登山道柵立て作業	 シカ柵（ニホンジカ侵入防止柵）設置作業	 自然解説活動（自然観察会）	 木道の栈木打ち作業	 特定外来植物（オオハングンソウ）駆除作業
--	--	--	--	---	---

表紙の風景

2022年は近年になく残雪が多い年でした。そのため、尾瀬沼ビジターセンター職員は例年、沼山峠から入山のところ、2022年は大清水からの入山となりました。ヘリの運搬日までは、生活と仕事に必要なものは自分たちで荷揚げしなくてはなりません。肩に食い込む荷物は重く、慣れない雪の山道に転ばないように進みます。やっと辿り着いた景色は眩しく、これからの尾瀬での生活への期待が膨らんだ瞬間でした。



Instagramのキャンペーンを実施します！

昨シーズン応募総数3000枚以上となったInstagramのキャンペーンを2023シーズンも実施予定です。尾瀬での思い出の一枚をお待ちしております！

STEP 1≫ 尾瀬公式Instagramアカウント (@discoveroze) をフォロー

STEP 2≫ 尾瀬国立公園内で写真を撮影

STEP 3≫ 指定# (ハッシュタグ) をつけて投稿

詳細は当財団HP、公式SNS上でお知らせしますので、お楽しみに！



尾瀬公式
Instagram

noteに公式アカウントを開設しました

noteに公式アカウントを開設しました。尾瀬に関するさまざまな記事を投稿していきますので、尾瀬を知る手段の一つとして是非ご覧ください。



尾瀬保護財団
note

クレジットカードで寄付ができます！

自宅や外出先で、簡単に3ステップ寄付！

手順

※詳細は本誌14ページをご覧ください。

① QRコードを読み取り

② 特設ページ上部の「寄付で尾瀬を支援する」をクリック

③ 必要事項を入力



▲ QRコード



皆さまからのご支援をお願いします!!

友の会コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援してくださる方々の集まりです。

※加入・更新時期は年4回(5月・8月・11月・2月)です。

※令和5年8月1日からの加入・更新をご希望の方は6月30日までに会費の納入をお願いします。

《年会費》

個人	個人会員	1口 2,000円
	家族会員 (個人会員と同居の家族)	1口 1,500円
	ユース会員 (加入又は更新時に満22歳以下)	1口 1,500円
	賛助会員 (団体・企業等)	1口 10,000円
	特別会員 (企業等)	3年に渡る30万円以上の寄付または1回100万円以上の寄付

《特典について》

友の会に加入された方には、以下の特典を提供させていただきます。

- 友の会会員バッジ進呈 (初回加入時のみ)、各種資料送付
- 財団機関誌：郵送にてお配りします
- 宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引 (休日、祝祭日等の除外日があります。)
- 尾瀬周辺施設利用料割引：入浴料割引
対象施設等の詳細は財団ホームページでご確認ください。
<https://www.oze-fnd.or.jp>

編集後記 | 今回の特集で檜枝岐歌舞伎について取り上げさせていただきましたが、私も毎年観劇しています。道の脇に立つのぼりに沿って歩いて、神社へ向かい、鳥居をくぐると村の方が貸マットと記念の団扇を渡してくれて、提灯が周りを囲んだ石段に良い場所を見つけて座ると、開演を待つ時間もお祭りのような雰囲気が手伝ってとても楽しいです。コロナ前は会場で飲食物の販売もしていたので、それも楽しみの一つでした。(大澤)



OZE Mobile ● 緊急情報 ● お知らせ ● ライブ映像 など
スマートフォンサイト情報配信中

Twitter @oze_info

尾瀬情報配信中
尾瀬の情報を随時発信します

